

Lisa Larson  
A Journey  
Through Time



《気球/トラフィックシリーズ》1971-1973年



《飛行機/トラフィックシリーズ》1971-1973年



《ブルドック(マキシ)》製造1972-1980年代



《日本女性》製造1958-1973年



《木製のトリ》1970年



《ライオン(マキシ)/アフリカシリーズ》製造1968年-

創作と出会いをめぐる旅

# リサ・ラーソン展

2021 **4.10** (sat) → **6.13** (sun)

開館時間 午前10時～午後5時(観覧券販売は午後4時30分まで)

休館日 月曜日(ただし4月26日、6月7日は開館)

観覧料 一般 1,000円 / 大学・高校生 800円 / 中学生以下 無料

前売券 一般 800円 発売期間 2月22日(月)から4月9日(金)まで

前売券取扱所 セブン-イレブン、ローソンチケット(Lコード:35502)、インフォメーションセンターえん(メディアシップ1F)、  
シネ・ウインド、新潟市美術館、新潟市新津美術館 ※NIC新潟日報販売店でもお取り寄せできます。

※有料20名以上は団体料金で2割引 ※新潟県立植物園および新潟市新津鉄道資料館の入館券を持参の方は2割引  
※障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方は無料(手帳をご提示ください)  
※2度目はオトク!リピーター割引(2回目の来館時、本展半券のご提示により、本展の2回目のご来場は団体料金でご覧いただけます)

◆新型コロナウイルス感染防止のためご理解とご協力をお願いします。

主 催 リサ・ラーソン展2021新潟展実行委員会、  
新潟市新津美術館、新潟日報社、UX新潟テレビ21  
後 援 スウェーデン大使館  
特別協力/リアン・デザイン・ミュージアム  
協 力/フィンエアー、フィンエアーカーゴ

企 画/アートインプレッション、松屋  
企画協力/ドンカチ  
協 賛/生活協同組合コープクルコ、  
万代シティビルボードプレス  
©Lisa Larson/Alvaro Campo



《ネコ/大きな動物園シリーズ》製造1958-1979年

Niitsu Art Museum

NAM 新潟市新津美術館

# リサ・ラーソン展 創作と出会いをめぐる旅

スウェーデンの陶芸家リサ・ラーソン(1931-)。彼女が創り出す素朴で温かみのある作品は、世界中で多くのファンを魅了しています。陶芸制作会社のグスタフスベリ社在籍時には、デザイナーとして「小さい動物園」「アフリカ」等の人気シリーズを手掛けたほか、生活を彩るテーブルウェアの制作でも人気を博しました。独立以降、ユニークピース(一点物の作品)などの制作を続け、今年90歳を迎えようとしています。

2018年以来2度目の開催となる本展では、リサ・ラーソンの初期から近年に至る作品約200点のほか、創作に当たり影響を受けた世界各地の諸文化や芸術家たち―北欧のデザイナー、アメリカの陶芸家から日本の陶芸家・濱田庄司ら―の作品約20点を合わせてご紹介します。リサが歩んだ創作の旅路と出会いがもたらした軌跡を、多彩な作品を通じてお楽しみいただきます。



①《リサ・ラーソンが14歳の時に描いた祖母の家の絵》1945年。②《花器(ユニークピース)》1955-1956年頃。③《ネコのトゥルル/トリップ・トラップ・トゥルルシリーズ(原型作品)》1968年頃。④《ビーチにいる二人(ユニークピース)》1970年代。⑤《トリの花器》1985年。⑥《ハリー/日本限定版(原型作品)》2013年  
©Lisa Larson/Alvaro Campo



**Lisa Larson リサ・ラーソン**  
1931年スウェーデン・スモールランド地方出身。スウェーデン最大の陶芸制作会社グスタフスベリ社で在籍した26年間で、約320種類の作品を制作。1980年に独立。近年は作品復刻のほかに、アートピースや新作を発表するなど精力的に創作活動を続けている。代表作「大きな動物シリーズ」「アフリカシリーズ」等多数。  
©Emma Mattsson

### 関連イベント

#### 担当学芸員によるスライドトーク

[日時] 4月25日(日)、5月16日(日)午後2時~(各回30分程度)  
[会場] 新津美術館レクチャールーム  
[定員] 35名  
申込不要、聴講無料(ただし観覧券が必要)  
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施を見合わせる場合があります。最新の情報はホームページをご確認いただくか、お問い合わせください。イベント参加の際には氏名・住所・電話番号の提供をお願い致します。

© LISA LARSON

### ミュージアム・ショップ リサ・ラーソン特集

リサ・ラーソンファンの皆さん、お待ちせしました!  
会期中、ミュージアムショップで展覧会関連グッズを販売します。  
スウェーデンから届いた小物や新作アイテムまで大集合!是非お見逃しなく!

展覧会公式ゴフレット(陶器シリーズ) ¥1,620	捺染でぬぐい(くろねこ) ¥1,540	展覧会公式ハンカチ ¥1,540	エコバッグ マイキー(レッド) ¥1,980
---------------------------	---------------------	------------------	------------------------

※いずれも税込み。商品画像はイメージです。売れ切れの際はご容赦ください。

## 新津美術館のサービス

◆あいてマデ〜!  
月曜でも開館します。今回は4月26日と6月7日です。

◆こどもタイム  
会場に音楽が流れるので、親子で会話を楽しみながらご鑑賞できます。  
[日時]会期中の第1・3木曜日(4月15日、5月6日、20日、6月3日)

※最新の情報はホームページをご確認いただくか、お問い合わせください。

## 交通案内

- JR**
  - ・JR古津駅から徒歩約25分/JR矢代田駅から徒歩約35分。
  - ・JR新津駅からタクシー約15分/JR矢代田駅からタクシー約5分。
- お車**
  - ・新潟方面から、国道49号線を国道403号線で加茂・新津方面(新潟駅から約20km、約45分)。
  - ・磐越自動車道、新潟ICから約20分/新津西スマートICから約15分(新津西スマートICは会津若松方面の出入りではできません)。
  - ※無料駐車場有(250台)/新潟県立植物園無料駐車場も利用可能
- バス**
  - ・JR新津駅東口バス停から、秋葉区バス「新津駅西口行」に乗車約25分、「美術館・植物園前」で下車、徒歩すぐ。
  - もしくは新潟交通バス「矢代田経由白根・湯東行」に乗車約15分、「新津美術館入口」で下車、徒歩約5分。
  - ・JR矢代田駅前バス停から、秋葉区バス「新津駅東口行」に乗車約10分、「美術館・植物園前」で下車、徒歩すぐ。
  - もしくは新潟交通バス「新津駅行」に乗車、「新津美術館入口」で下車、徒歩約5分。



<p><b>展覧会のご案内</b></p> <p><b>[同時開催]</b> ◆新津美術館コレクション展I 技光る“用の美” 4月10日(土)~6月13日(日)</p> <p><b>[次回展覧会]</b> ◆創業200周年記念 フィンレイソン展 6月26日(土)~8月29日(日)</p>	<p><b>[新潟市美術館の展覧会]</b> TEL: 025-223-1622</p> <p>◆無言館 遺された絵画からのメッセージ 4月10日(土)~6月6日(日)</p>
--	--